

待望の新設道路で安全運転を呼び掛け

◎国道441号新設道路開通

2月1日、国道441号の新設道路の開通を記念した交通茶屋が桜峠の新設道路で行われました。

交通茶屋は、愛治自治会、交通安全協会愛治支部、愛治公民館が実施。交通安全を呼びかけるチラシやわかば作業所のクッキー、桜峠にちなみ水引で作られた手作りの桜の花の交通安全ストラップ等が用意され、新設道路を通行した運転手に配られました。交通茶屋は午後1時から約1時間実施され、「道が良くなったけどとばさんように」などと伝えて安全運転を呼びかけていました。

今回開通したのは、桜隧道の南側に新設された全幅7m、全長880mの二車線道路。工事は、平成24年度から実施され、令和4年1月に工事を終わりました。

旧道は角度の急なカーブや、雨天時等には落石も多くあることなどから、新設道路を望む声があり、頻繁に利用する愛治地区の住民にとって待ち望んだ開通となりました。



鬼王丸が豆を配って無病息災を祈る

◎森の三角ぼうし 節分イベント

2月3日の節分の日に、宇和島駅で鬼王丸が無病息災を祈願した節分豆を駅の利用者らに配りました。

毎年三角ぼうしが園児を招いて実施していた節分イベントが新型コロナウイルスの感染拡大により実施できないことから三角ぼうしが町のPRに繋げようと企画しました。豆の配付は、昨年7月から運行している鬼列車の出発時間に合わせて実施され、駅の利用者らは突然現れた鬼王丸に驚きながら、笑顔で豆を受け取っていました。



長年にわたり交通安全活動に尽力

坂本浩さんが交通栄誉章緑十字銀章表彰を受章

2月1日、鬼北交番で坂本浩さん＝近永＝に交通栄誉章緑十字銀章表彰が贈られました。

坂本さんは、昭和59年4月から現在まで30以上にわたり町の交通安全指導員として活動。平成6年からは交通安全指導員会会長も務めており、毎月20日の交通安全の日には、地域の交差点で街頭指導を行うなどして、地域住民の交通安全意識の高揚に努めています。

坂本さんは、「交通事故をなくしたいという思いで活動を続けてきた。受章は、共に活動する交通安全指導員の皆さんのおかげです」と、笑顔で話していました。

